

● 診療科の特色

腎疾患にかかわる分野全般の診療を行います。検診での検尿や腎機能異常の精査、慢性腎臓病の診断やステージに応じた治療、急性腎障害の診断治療、透析導入(血液透析、腹膜透析)などです。また各種疾患(糖尿病、膠原病など)における腎臓の合併症の診療にもあたります。さらには、慢性透析患者の当院各科入院治療中の透析治療を行っています。また腎移植治療の術前管理や術後の長期管理など参画しています。

それ以外に、関節リウマチ・膠原病の治療を入院・外来にて行っています。DMARDs、ステロイド、免疫抑制剤、生物学的製剤を使用します。なおリウマチ膠原病診療は令和2年度からはリウマチ科として診療予定です。

診療担当は常勤医師2名、レジデント1名(卒後5年目)、ローテートの専攻医と初期研修医です。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 年間入院患者数 250名

	疾患	患者数
1	慢性腎臓病(非透析、糖尿病以外)	44
2	慢性腎臓病(血液透析、糖尿病以外)	39
3	慢性糸球体腎炎	23
4	糖尿病性腎臓病(血液透析)	22
5	リウマチ膠原病	20
6	ネフローゼ症候群	15
7	糖尿病性腎臓病(非透析)	13
8	急性腎障害	8
9	慢性腎臓病(腹膜透析、糖尿病以外)	5
9	糖尿病性腎臓病(腹膜透析)	5

死亡退院 9 例：急性呼吸不全、うっ血性心不全、多臓器不全、後腹膜膿瘍、消化管出血、敗血症性ショック、その他

2. その他

1) 検査

a) 腎生検施行(当科施行件数)65例(延べ数)

IgA 腎症 14 例、ループス腎炎 8 例、ANCA 関連血管炎 7 例、膜性腎症 6 例、微小変化型ネフローゼ症候群 5 例、糖尿病性腎症 4 例、腎硬化症 3 例、急性糸球体腎炎 2 例、尿管間質性腎炎 2 例、シェーグレン症候群 1 例、その他の半月体形成性糸球体腎炎 1 例、マクログロブリン血症に伴う腎障害 1 例、溶血性尿毒症症候群 1 例、血栓性微小血管症 1 例、急性尿細管壊死 1 例、腎アミロイドーシス 1 例、菲薄基底膜病 1 例、その他

b) 腎生検診断

成人の腎生検組織(腎臓内科・腎移植外科など)の評価を臨床検査科・当該科と共に行っている。

2) 治療(入院治療患者数:新規開始ないし再開、患者ベースの例数)

- a) 慢性腎炎、ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎、リウマチ膠原病
副腎皮質ステロイド 36 例、IgA 腎症扁桃腺摘出後ステロイドパルス 2 例、生物学的製剤 5 例(ネフローゼ症候群 2 例、リウマチ膠原病 3 例)
- b) 慢性腎臓病(CKD)患者診療
外来では透析や移植に至っていないすべてのステージの CKD 患者、入院では主に CKD ステージ G4~G5 患者の評価・治療・療法選択などを行っている。
- c) 血液透析
7A 透析室にて入院患者のみを対象。月水金、午前・午後、火木土午前の計 3 クール。コンソール 5 台。通常 15 名受入可能。
1 クール定員 5 名で運用
令和元年度入院血液透析患者数 327 例(2019/4/1 時点の入院を含む)、のべ透析回数 2480 回(7A 透析センターにて。病室、CCU での血液透析は除く)。
(詳細は透析センターの頁をご参照ください)
- d) 腹膜透析:外来患者 20 名。(そのうち PD/HD 併用は 6 名)
外来患者は専門外来にて管理しています。
導入 4 名、離脱 3 名(全例当院通院患者)
腹膜透析患者入院 19 名(導入、内科・外科治療など)
- e) リウマチ膠原病
全身性エリテマトーデス 7 名、血管炎症候群 7 名、成人スチル病 1 名、多発性筋炎 1 名、シェーグレン症候群 1 名

3) 教育

- a) 岡山大学臨床教授として、岡山大学医学部医学科の学生を受入れ指導。
令和元年度同校 5~6 年生 1 名受け入れ。(1 週間、糖尿病内科と)
- b) 専攻医、初期研修医などの指導
- c) 看護助産学校講師、病院実習中の看護学生サポート

4) 研究・治験

- a) 治験(1件)
SGLT-2 阻害薬による慢性腎臓病治療
- b) 市販後調査全例報告
- c) 当科にて
稀な症例の報告、少数例の後ろ向き検討など

● 研究業績

1. 論文発表

- 1) 門脈血栓症と肝梗塞を発症した糖尿病性腎症腹膜透析患者の一例

中土井崇人、山崎浩子、寺見直人、太田康介、酒井悠祐、加藤秀太郎、向井敬、山田晴士、梶谷展生

2019 年 11 月

2. 学会、研究会

- 1) 「発症約 30 年後に急速進行性糸球体腎炎を呈した 30 歳代女性のネフローゼ症候群の 1 例
渡邊慶太
第 76 回 岡山腎疾患懇話会 2020 年 4 月 6 日
- 2) ASO 高値と関節炎にて発症し成人スチル病と考えられた一例
太田康介
第 63 回 日本リウマチ学会総会・学術集会 2019 年 4 月 17 日
- 3) 不明熱と胸腹水を呈し TAFRO 症候群と考えられた一例
太田康介
第 63 回 日本リウマチ学会総会・学術集会 2019 年 4 月 17 日
- 4) 特発性肺動脈性肺高血圧症として治療を開始後 14 年の経過を経て全身性エリテマトーデスの
診断に至った 1 例
中納弘幸
第 116 回 日本内科学会総会・講演会 2019 年 4 月 27 日
- 5) 選択的血漿交換療法を施行した ANCA 関連血管炎の 1 例
鳥越大史
第 120 回 日本内科学会中国地方会 2019 年 6 月 1 日
- 6) 敗血症性の急性腎障害に対し血液透析を施行し離脱し得た生体腎移植患者の 1 例
寺見直人
第 104 回 岡山透析懇話会 2019 年 6 月 15 日
- 7) Carfilzomib を投与した多発性骨髄腫患者における腎障害の検討
中土井崇人
第 62 回 日本腎臓学会学術総会 2019 年 6 月 22 日
- 8) 入院血液透析患者における死亡原因の検討
太田康介
第 64 回 日本透析医学会学術集会・総会 2019 年 6 月 30 日
- 9) 超音波血流計を用いた血液透析回路内実血流量の測定
大野開成
第 64 回 日本透析医学会学術集会・総会 2019 年 6 月 29 日
- 10) 透析導入期に 2 型呼吸不全を呈し非侵襲的陽圧換気法を導入した慢性腎臓病の 1 例
白石裕雅
第 121 回 日本内科学会中国地方会 2019 年 10 月 5 日
- 11) 炭酸リチウム治療中に発症した急性腎臓病に続発し多尿が遷延した腎性尿崩症の 1 例
川崎綾子
第 121 回 日本内科学会中国地方会 2019 年 10 月 5 日
- 12) 腎臓浸潤と糸球体に免疫複合体の沈着を認めた悪性リンパ腫の 1 例
中土井崇人
第 49 回 日本腎臓学会西部学術大会 2019 年 10 月 18 日
- 13) ANCA-associated vasculitis with the initial symptom of multiple cerebral infarctions
高林明日香

- 第 73 回 国立病院総合医学会 2019 年 11 月 8 日
- 14) 当院における新しい内科専門医制度の現状と課題
太田康介
第 32 回 岡山市医師会医学会 2019 年 11 月 16 日
- 15) 腹膜透析カテーテル出口部に *Prevotella bivia* による皮下膿瘍を形成した一例
中土井崇人
第 25 回 日本腹膜透析医学会学術集会・総会 2019 年 11 月 23 日
- 16) 当院腹膜透析患者における結核発生状況および潜在性結核への対応
太田康介
第 25 回 日本腹膜透析医学会学術集会・総会 2019 年 11 月 23 日
- 17) 貧血と炎症反応が継続し *Helicobacter cinaedi* 感染の関与が疑われた SLE の一例
太田康介
第 30 回 日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会 2019 年 12 月 7 日
- 18) 急速な経過で肺出血を発症し血管炎が確認されたシェーグレン症候群の一例
中土井崇人
第 30 回 日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会 2019 年 12 月 7 日
- 19) 腹膜透析、血液透析併用療法中に腹膜炎を発症しセフトラジム脳症を合併したと考えられた一例
中土井崇人
第 28 回 中国腎不全研究会学術集会 2019 年 12 月 8 日
- 20) 多発性嚢胞腎に合併した肝嚢胞感染に対してセフメタゾールで良好な経過を得た一例
小柳太作
第 28 回 中国腎不全研究会学術集会 2019 年 12 月 8 日
- 21) 腎移植後長期経過中に低 Na 血症を呈した三例
太田康介
第 53 回 日本臨床腎移植学会 2020 年 2 月 20 日

3 講演

- 1) 発症約 30 年後に急速進行性糸球体腎炎を呈した 30 歳代女性のネフローゼ症候群の一例
太田 康介、渡邊 慶太
第 76 回岡山腎疾患懇話会 2019 年 4 月 6 日
- 2) 岡山医療センターの取り組み
太田 康介
小倉 PD セミナー 2019 2019 年 4 月 24 日
- 3) 学術講演会 水利尿薬について再考する
太田 康介
岡山医療センター 2019 年 9 月 4 日
- 4) 慢性便秘 Seminar
太田 康介
ホテルグランヴィア岡山 2019 年 9 月 18 日

- 5) 函館 PD セミナー
太田 康介
函館五稜郭病院 2019年9月20日
- 6) 岡山・赤磐エリア(若手医師の勉強会)
太田 康介
赤磐市桜ヶ丘いきいき交流センター 2019年11月29日